

研究課題名	<p>2017-057</p> <p>救急外来で社会的サポートの必要性を認識し介入した患者の特性</p>
実施責任者	<p>名古屋掖済会病院 初療室 看護師 水上舞</p>
研究の概要	<p>救命センターを受診され診療を受けられて、入院治療は必要がないとの判断で帰宅することになったものの、帰宅に強い不安を感じる患者様やご家族がいらっしゃいます。</p> <p>こういった患者様やご家族に対して、各看護職員の対応はこれまで統一されておりませんでした。</p> <p>このため、看護師が社会的サポートの必要性を認識して、情報収集をおこなってきました。</p> <p>今回この情報収集のデータを整理し、社会的サポートを必要とする救急外来受診患者様のスクリーニング方法について検討を行います。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	<p>2017年 3月 1日 より</p> <p>2018年 2月28日 まで</p>
研究対象	<p>上記の期間に、当院の救命センター外来で看護師が社会的サポートの必要性を認識して介入させていただきました患者様が対象となります。</p>

